

農事組合法人 ながさき南部生産組合

視察日：2015年3月13日
所在地：長崎県南島原市北有馬町
主な取り扱い品目：ミニトマト、島原の
トマト、茎ごとおいしいブロッコリー、
じゃがいも、玉ねぎ他



商品 特徴

有機栽培（堆肥等による土作りを行い、播種・植付前2年以上及び栽培中に原則として化学的肥料・農薬は使用しない。遺伝子組み換え種苗は使わない。）を実施。1999年より全国に先駆けて、公開監査制度の手法を用いた農業生産工程管理システムを導入したので全ての農作物について追跡調査（トレーサビリティ）できる。

産地 紹介

安全な「食」と環境に優しい農業を目指すことを根底に、品質レベルの均一化や向上にむけて、各部会

で協議が重ねられている。特に農薬は、慣行栽培基準の半分以下の農薬、化学肥料の使用を基本。土作りにこだわった農業が行なわれている。



生産者 からの メッセージ

本当に体に良い食べ物を作るにはどうしたらいいのかを生産

者の立場から真剣に考え、品種の選定（新しい品目を増やし続け現在30品目以上）から土作り（土壌診断を実施、土の栄養分を補ったり減らすなど調整）までがんばっています。



参加理事 の 感想

「農薬ば好かんけん!」大規模ビニールハウスでスナックえんどうを栽培する生産者は、虫発生最盛期の9～10月頃、明け方は苗木の上の方にいる虫を手で摘んで除き、また苗木を揺さぶると虫が落ちてくるのでそれを拾って駆除と、人の目と手を使っての根気の要る作業が続くと言われています。それでも生産者は最小限の消毒しかやりません。閉鎖空間の中ではもちろん生産者は農薬被害を直接受けることになるからです。消費者にも生産者にも自然環境にも優しい産地だと体感・納得できました。栽培管理や手間暇かかる作業のお話の中に、農業に対する前向きな姿勢や、これからのものづくりの可能性を感じることができました。